



MIYAMA MOKUSHOJUKU
report on the activity
in 2021-2023

美山木匠塾 活動報告書 2021～2023年度





美山木匠塾とは

木匠塾は1991年に岐阜県高根村で始まった、建築学生が木について学ぶための活動です。奈良県川上村、岐阜県加子母村、そして京都府美山など、現在では様々な場所に活動が広まっています。間伐材等を使ったものづくりや、木や林業についての学習、山間部での活動などを通して、将来の建築業界を担う学生たちが木の大切さを学びます。

その中でも、美山木匠塾は地域に密着した活動を特徴としています。良いデザインをうみだすためには使う人や使われる場所を知る必要があると考え、地域のイベントへの参加、地域のお宅へのホームステイやインタビューなどを積極的に行い、地域と交流を深めながら、作品づくりに取り組んでいます。

美山町大野とは

京都府南丹市美山町は、京都府のほぼ中央に位置します。北集落のかやぶきの里は豊かな自然と農山村の原風景が感じられる場所として、重要伝統的建造物群保存地区に指定されました。

大野は美山町の西部に位置します。豊かな自然に囲まれた大野では、由良川沿いの桜や満天の星空、6月ごろにはホタルも観察することができます。地区を通る府道12号線は、バイクや自転車のツーリングコースとして人気があり、長期休暇には多くのツーリストが訪れます。また、大野は最初期の陶工である野々村仁清の生まれた地域といわれ、その生家と言い伝えられている茅葺き民家があります。

目次

2021年度報告書

2021.7-2022.9

美山町大野・美山木匠塾について ······ |

2021年度活動報告 ······ ······ ······ 4

2022年度活動報告 ······ ······ ······ 18

2023年度活動報告 ······ ······ ······ 30

感想文 3年間を振り返って ······ ······ 48

目次

1. 年間スケジュールと詳細-----5~14

2. 制作物について-----15~16

■2021年度年間スケジュール

10月

2021年度の活動スタート



11月

現地調査



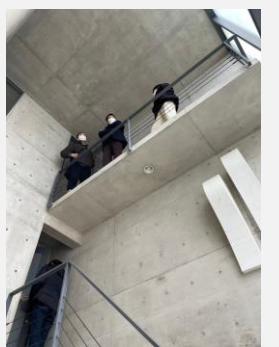
12月

建築見学会



1月

企画・計画・木材の発注



2月

現地調査



4月

制作案のブラッシュアップ



5月

制作



6月

木材を使った家具のデザインコンペ



7月

たかしま空き家Life Designコンペ



8月

制作物引き渡し



9月

■2021年度年間スケジュールの詳細

2021年7月18日 現地調査

参加者 大野の方：榎さん、小寺さん、サロンげんじの所有者の方/松原特別顧問/羽原塾長/京都府立大学3年：吉崎・大久保、2年：高山・滝

今年度の制作のために現地調査を行い、おおのさんぽの3つの散策路を歩き、獣害の深刻さを実感し、案内板の破損が多いことにも気づきました。また、サロンげんじを見学し、文化福祉部長、榎さん、所有者の方との意見交換をしました。8月14日に現地で映画の上映会をされるので、参加あるいはビデオメッセージを期待されました。今回はすべて公共交通で移動して、調査以外に、かやぶきの里の観光も楽しめました。

1日のスケジュール

- 7:20 京都駅集合
- 10:28 大野着
- 10:50 れきしのみち、なつかしのみちの散策
- 12:30 昼食
- 13:05 だいしぜんのみちの散策
- 14:00 サロンげんじの見学
- 16:00 かやぶきの里
- 17:58 日吉発
- 19:04 京都駅着

11月6日 現地調査

参加者 大野の方：榎さん・小寺さんほか/松原特別顧問/羽原塾長/OB：肝付・手島/京都府立大学2年：岸田、1年：中村

まちあるきをすることで美山を知り、ウォークラリーやサロンげんじでのビリヤード講習会に参加させていただくことで、地域の方と交流しながら空間の使われ方や地域に何が必要かを調査しました。

調査を通して、まずサロンげんじに人が集まりやすくなるにはどうすればよいかを考える必要があることが分かりました。

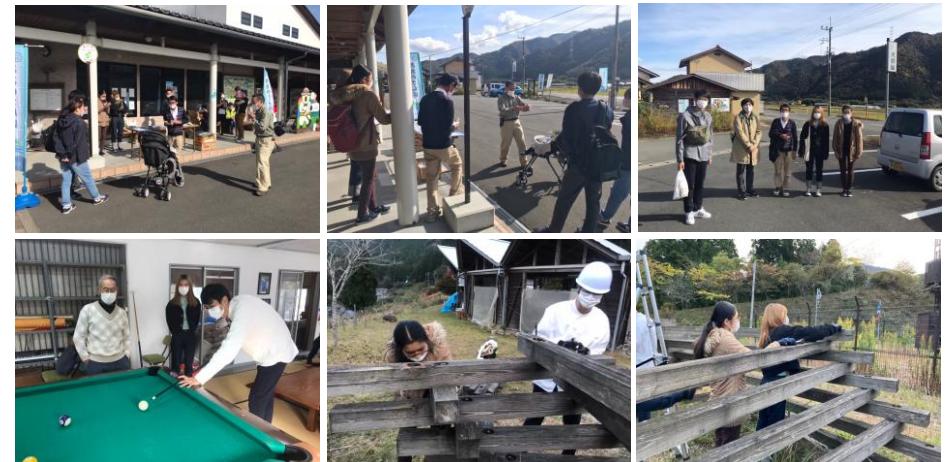
1日のスケジュール

- 8:30 京都府立大出発
- 10:00 ウォークラリーに参加
- 12:00 昼食
- 13:00 サロンげんじの調査・ビリヤード講習会に参加
- 14:30 過去の制作物の解体
- 16:30 大野出発



※サロンげんじとは

大野集落の東部に位置し、府道12号から坂道を上ったところにある。
もとは、作業所であった場所で、現在は、室内にビリヤード台がある。



■2021年度年間スケジュールの詳細

12月19日 建築見学会

参加者 施主：金森さん/羽原塾長/OB：手島/京都府立大学2年：岸田・滝、1年：中村・ほか2名

美山木匠塾のOBである手島さんが建築見学会を企画してくださいました。木匠塾以外の1回生も参加してくれ、1回生～社会人OBまで幅広い交流をしながら安藤忠雄設計の日本橋の家など、難波～心斎橋にある建築を巡りました。解説を直接聞きながら建築を見るという貴重な体験をし、また、実習や就職のことなどについてもお話を聞くことができ、充実した時間となりました。

1日のスケジュール
13:30 難波駅集合
13:45 日本橋の家見学
15:30 日本橋～心斎橋 散策
17:00 解散



1月～2月 企画・計画

現地調査等で分かったことから制作の方向性を決め、毎週のMTで案を話し合い、制作案を固めていきました。木材の発注は年度内に行わなければならぬので、ざっくりとした図面も作成しました。

3月27日 現地調査

参加者 羽原塾長/京都府立大学2年：岸田、1年：中村

実際に制作をするにあたりサロンげんじの正確な寸法の測定を行いました。美山に置いている過去の制作物を実際に見てビスの打ち方や補強の仕方を参考にしました。作業は終わった後は、かやぶきの里に行ってかやぶき屋根の伝統的な住宅を見学しました。

1日のスケジュール
11:00 府大集合・出発
13:00 寸法測定・ヒアリング
17:30 解散



4月 制作案のブラッシュアップ・制作準備

美山の方に実際に使っていただくものなので、使いやすさはもちろん、安全性もしっかり考慮して、制作に向けて案をブラッシュアップし図面等を作成しました。

■ 2021年度年間スケジュールの詳細

5月2日～4日 制作

参加者 羽原塾長/松原特別顧問/京都府立大学3年：岸田、2年：中村、1年(制作体験)：土井・平田/長岡造形大学4年：佐藤・堀

2021年度の制作は府大の木工室にて3日間行いました。2021年度は木匠塾のメンバーの他に制作体験として1回生2名と、長岡造形大学の4回生2名が参加してくださいました。木材にケガキをしてスライドソーで切断するチームと木材の腐朽を防ぐための塗装を行うチームに分かれて作業を行いました。木材を仮止めしながら組み立てていき強度を確かめた後にボンドで接着し、木目の方向に注意しながらビスで固定していきました。3日間でベンチ1台を完成させ、もう1台をビスで固定する前の状態まで作成しました。作成途中のベンチは2022年9月の木工体験会で完成させました。1回生とも長岡の4回生とも初めてお会いしたので最初は緊張していましたが、作業を通してだんだんと打ち解けていき、ベンチが完成した時の達成感をみんなで味わえてよかったです。

制作スケジュール

1日目 9:00～18:00 ケガキ、切断、塗装

2日目 9:00～18:00 組み立て、ビス打ち→1台目完成

3日目 9:00～10:30 片付け

※1日目 14:00～15:30はケガキとスライドソー等電動工具を使った木材カット、2日目 14:00～18:00は組み立て、ビス打ちの制作体験会とし、参加を希望する1回生にも来てもらいました。



ケガキ

切断

塗装

組み立て①

組み立て②

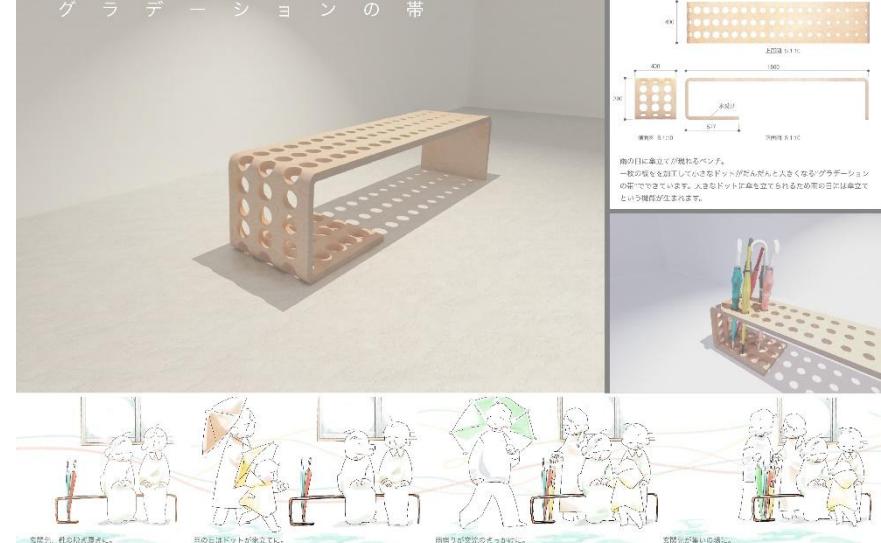
6月 木材を使った家具のデザインコンペ

参加者 羽原塾長/松原特別顧問/京都府立大学3年：岸田、2年：中村/長岡造形大学4年：佐藤・堀

2021年度の制作物を基に少し修正を加え、「木材を使った家具のデザインコンペ」に挑戦しました。座面の木材の間隔ではなく、木の板に穴をあけるデザインで、穴の大きさでグラデーションを作るという手法を取りました。話し合いは、zoomでのミーティングで進めていきました。発案においてもプレゼンボードの作成においても長岡造形大学の先輩方には大変お世話になりました。結果は残念ながら入賞ならずでした。

スケジュール
6/7 エントリー完了
6/20 最終提出

グラデーションのベンチ

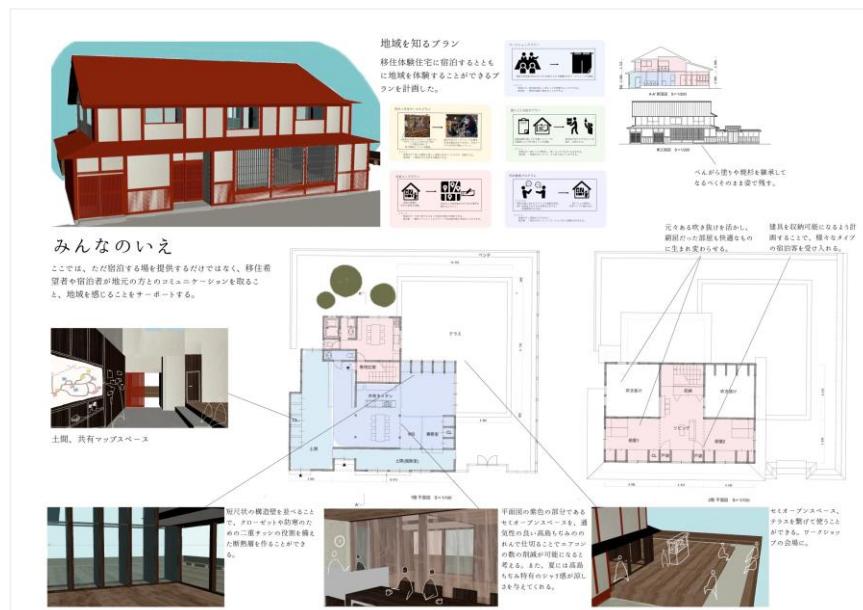
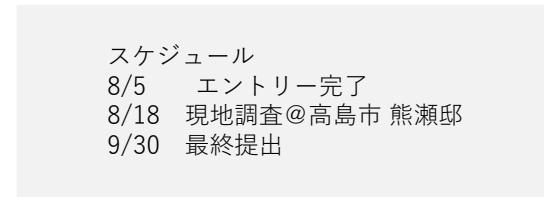


■ 2021年度年間スケジュールの詳細

8月～9月 たかしま空き家Life Designコンペ

参加者 羽原塾長/松原特別顧問/京都府立大学3年：岸田、2年：中村、1年：平田・土井/長岡造形大学1年：永井

8月、9月は滋賀県高島市が主催の、空き家を移住体験住宅にリノベーションするコンペに美山木匠塾と長岡造形大学の木匠塾の合同チームで挑戦しました。長岡造形大学の方には案出しだけでなく、特に3Dの作成等技術面で力を発揮していただきました。コンペを通して高島の歴史や雪が降る地域での住宅のつくり方を学ぶことができました。約2か月の努力の末、歴史的な町家の良さを残しつつ高島市の特産も取り入れたプランに、地域交流を促すソフト面のプランニングを盛り込んだ木匠塾らしい移住体験住宅となりました。結果は残念ながら受賞ならずでした。期限内にプレゼンボードを上手く作れなかったことが一番の反省点です。



9月18日 木工体験会

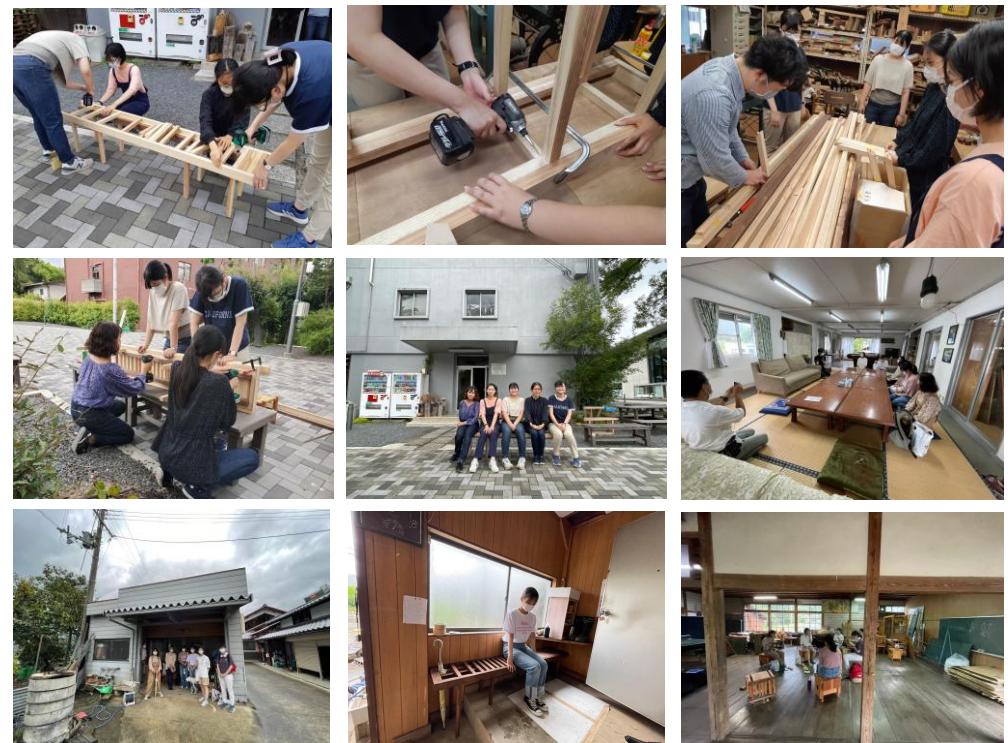
参加者 羽原塾長/松原特別顧問/京都府立大学2年：中村、1年：平田・土井/長岡造形大学4年：中村、1年：永井

5月の制作の際に作成途中であったベンチを用いて木工体験会を行いました。長岡造形大学の学生との交流の機会ともなりました。

9月19日 制作物の引き渡し・現地調査

参加者 大野の方：文化福祉部 小寺部長、榎さん/羽原塾長/松原特別顧問/京都府立大学3年：岸田、2年：中村、1年：平田・土井/長岡造形大学4年：中村、1年：永井

2021年度の制作物であるベンチの引き渡しを行いました。1台はサロン併用の玄関に、2台目は求祐館の入り口付近に置かせていただきました。引き渡しの後は2022年度の制作のための現地調査やヒアリングを行いました。ただ、台風が近づいていたので時間の限られた中での調査となりました。



■2021年度 制作物

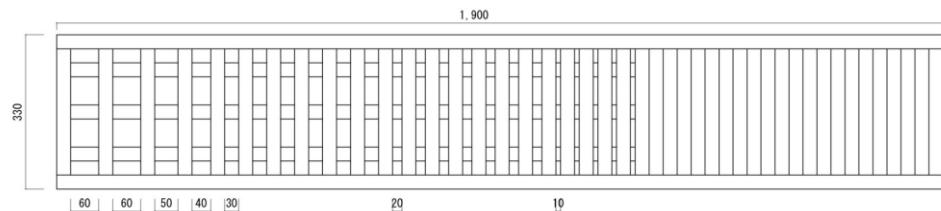
グラデーションの帯（傘立て付きベンチ）

制作のきっかけ

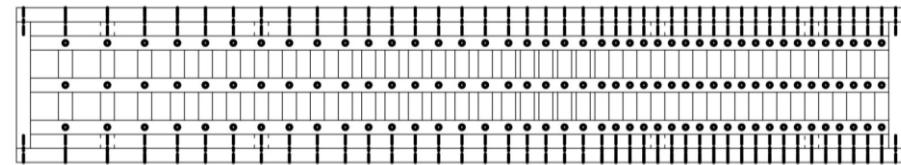
11月の現地調査で美山木匠塾がウォークラリーに参加し、地域住民の方にサロンげんじを知っているか、行ったことがあるか、どのような場所だったら使いたいか等お聞きしヒアリングを行いました。その後、ビリヤード講習が行われているサロンげんじを訪問し、実際にどのように空間が使われているのか調査をしました。様々なご要望や現地調査を行って分かったことの中から、私たちは玄関が整備されておらず出入りしにくい状態であることに注目しました。サロンげんじを数年かけて使いやすくするという計画の元、まずは玄関にある段差を活かして傘立て付きのベンチを制作することにしました。木材の間隔を少しづつ広げ、グラデーションとすることでベンチに傘立てという新たな役割を付加させました。



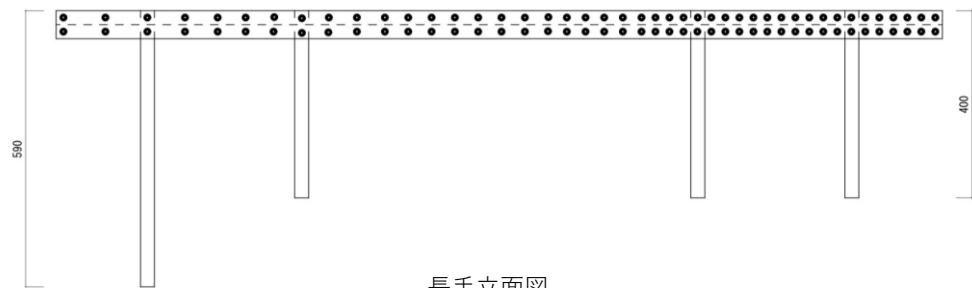
図面



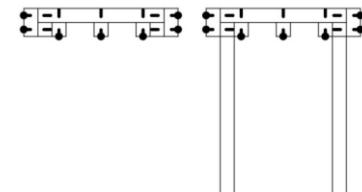
座面 平面図



裏面 平面図
(ビス: 4.5mm × 56mm)



長手立面図



短手立面図

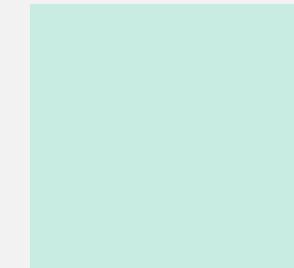
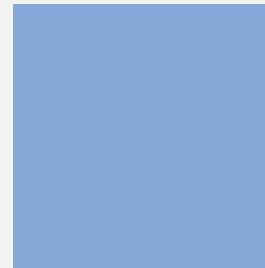
2022年度 活動報告書

2022.9-2023.5



代表幹事の感想

2021年度はコロナの影響を大きく受けた中での活動でした。少ない人数で大変なことも多かったですが、何とか活動をやりきることができたのはとても嬉しく思います。長岡造形大学の方々との交流は今後も続けてほしいです。木匠塾での様々な挑戦や貴重な体験で学んだことは忘れず今後にも活かしていきたいです。岸田陽香



1. 年間スケジュール · · · · · 19
2. 制作の流れ · · · · · 21
3. 制作物について · · · · · 27

2022年度 年間スケジュール

2022年



9月19日 ヒアリング

(場所) 美山町大野
(参加者) 大野住民：文化福祉部
小寺部長・榎さん/羽原塾長/
京都府立大学3年：岸田、
2年：中村、1年：土井・平田/
長岡造形大学4年：中村、
1年：永井



11月18日 「第12回KYOTO地球環境の殿堂」ポスター掲示

(場所) 国立京都国際会館
(主催) 「KYOTO地球環境の殿堂」運営協議会
(美山木匠塾の参加者) 松原特別顧問/京都府立大学2年：中村、
1年：土井・平田



環境活動に励む企業や団体が集まる
場で美山木匠塾の活動を伝えた。
他の団体と交流し、活動を知る中で、
美山木匠塾では、住民の方の意見を
くみ取ることや取り組みを形として
残せる強みを認識できた。



12月10日 現地調査・「サロンげんじ」実測

(場所) 美山町大野
(参加者) 大野住民：文化福祉部小寺部長・小寺副部長/松原特別
顧問/京都府立大学2年：中村、1年：土井・平田

2023年

2月28日 「第3回美山×研究つながる集会」

(場所) オンライン参加
(主催) 京都大学フィールド科学教育研究センター・京都丹波高原国定公園ビジター
センター 運営協議会・森里連環学に基づく「豊かな森里の再生」研究会
(参加者) 羽原塾長/松原特別顧問/京都府立大学2年：中村



3月4日 現地プレゼン

(場所) 美山町大野
(参加者) 大野住民：文化福祉部小寺部長・榎さん・八木さん/
京都府立大学2年：中村、1年：土井・平田



3月21～24日 制作①

(場所) 京都府立大学 木工室
(参加者) 羽原塾長/松原特別顧問/京都府立大学2年：中村、1年：
土井・平田/長岡造形大学4年：中村



3月25日 引き渡し①

(場所) 美山町大野
(参加者) 大野住民：小寺さん・榎さん・八木さん/松原特別顧問/
羽原塾長/京都府立大学2年：中村、1年：土井・平田



4月2～6日 制作②

(場所) 京都府立大学 木工室
(参加者) 京都府立大学M1：植地、2年：中村、1年：土井・平田



5月4日 引き渡し②

(場所) 美山町大野
(参加者) 大野住民：文化福祉部小寺部長・榎さん・八木さん・
小寺さん家族2名/羽原塾長/松原特別顧問/
京都府立大学2年：中村、1年：土井・平田

2023年度活動



6月10日 イベント「ほたるサロン」にて活用

8月13日 イベント「盆踊り」にて活用 (場所) 美山町大野

ヒアリング・企画

2021年度の振り返り

ベンチと靴箱を同時に作ろうとしたが、期間の関係で、ベンチのみ実現した。

2022年

9月19日 住民の方へヒアリング
コロナで住民同士の話す機会が減少。

サロンげんじを活用したい。



ヒアリングの様子・
サロンげんじの内観

10月～ 具体的な目標・案の検討

○分析 サロンげんじの特徴：周囲に住宅・私有の場所。
(公民館・求祐館との違い)



サロンげんじの位置



サロンげんじの外観

○目標 サロンげんじを気軽に立ち寄れる場所にする。

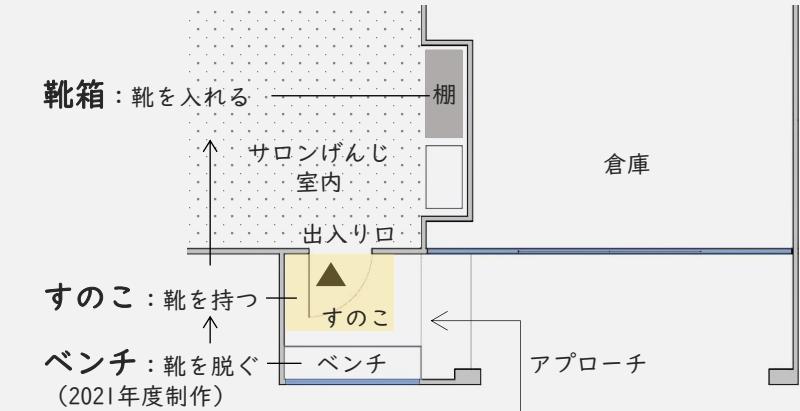
○方法 ①入りやすい環境 + ②入りたい環境 の整備。

12月10日 現地調査・サロンげんじの実測

2023年
3月4日 制作案の現地プレゼン (14:00～15:30)

内容① 入りやすい環境

サロンげんじに置くすのこと靴箱を制作。
→靴を脱ぎ履きする流れをスムーズにする。



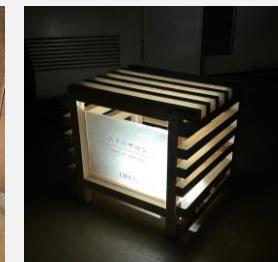
サロンげんじの出入口周辺の平面図 ※12月10日実測。

内容② 入りたい環境

住民の方がサロンげんじの空間を自由に構成できる場にする。
→椅子、机、行燈、看板、小上がり、収納 (+①の靴箱)
の7つの機能を1つのデザインができる物を考えた。



椅子



行燈＆看板



収納

3月4日 現地プレゼン（つづき）

原寸大の試作品を持参して説明。

（住民の方から）

（a）畳の上でも使いたい。

（b）靴箱を室内に置くことに
抵抗がある。

→靴はベンチ下に置くことも
可能。

→7つの機能のうち、特に行燈、
看板、小上がり、椅子
が良い。

（c）椅子の高さがちょうどよい。

→低め（高さ40cm未満）でお年寄りが座りやすく、
背が高い人は、座布団を置いて調整すると良い。



現地プレゼンの様子

3月7日 プrezen後変更箇所の説明文書のメール送付

（a）脚の形状を変更。→畳を傷つけない。

（b）靴箱・収納の機能は無くす。

→靴はベンチ下に足形を印字したプレートを置き、
靴置き場をわかりやすくする。

（c）椅子の高さは維持。

+質問への回答（塗料の特徴について）



制作

3月21日～24日 制作①

3月21日 ケガキ・切断・やすり

22日 切断・やすり・
レーザー加工
(安全管理者研修)

23日 塗装

24日 組み立て

→制作物3個 完成



制作の様子（やすり）

4月2日～6日 制作②



制作の様子（組み立て）

4月2日 やすり・ケガキ

3日 切断

4日 やすり・塗装

5日 組み立て

6日 組み立て

→制作物5個 完成

⇒合計8個の制作物 完成

制作のポイント

- ・正確かつ効率よく同じ作品を複数作るために、**治具**を作り活用。
- ・完成期限内に作る必要があった。
→部員以外に、長岡造形大学木匠塾、美山木匠塾OB、
京都府大森林科学科・環境デザイン学科の方に協力いただいた。
- ・美山木匠塾の活動では**初めてレーザー加工機**を使用。
→森林科学科の方に使用方法を教えてもらった。

引き渡し・活用

3月25日 引き渡し①

- 制作①で作った3個の制作物をサロンげんじにて引き渡した。
→座り心地や重さなどを確認いただき、特に手触りを
気に入っていただけた。
- 出入口に設置するすのこは現地で制作した。



引き渡しの様子



すのこを制作する様子

5月4日 引き渡し②

- 制作②で作った5個の制作物を引き渡した。



大野の方々にイコイスに座っていただく様子

2023年度活動

6月10日 「ほたるサロン」にて活用

- 制作物を「イコイス」と名付けた。
→名前と使用方法をまとめたポスターを住民約20人に配布。
- 大野の建具店の尾上さんが「イコイス」の看板用のパーツを制作。
→大野の方と美山木匠塾の共同作品となった。
- サロンげんじの入口で看板として活用。
この看板の前で記念撮影している住民の方もいた。



尾上さん制作の看板用パーツ



看板として活用する様子

8月13日 「盆踊り」にて活用

- 4年ぶりの開催に30人以上が参加。
- 歴代の美山木匠塾の作品を活用。
- 「イコイス」は看板として会場入口付近で活用。



看板として活用する様子

● 「イコイス」

由来：1個の椅子で憩いの場を

思い：たった1個の椅子でも、複数個集めれば、看板や小上がり、机として使える。これによって、サロンげんじの使い方も広がり、地域の方々にとって、憩いの場になってほしい。

使い方：



椅子



看板 & 行燈

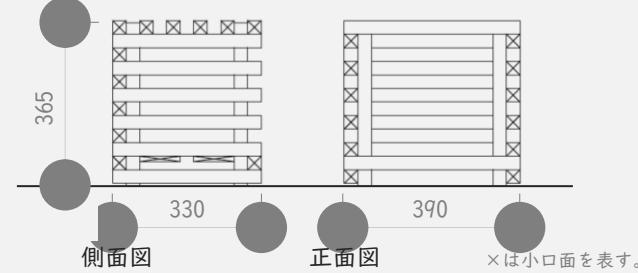


机



小上がり

図面：

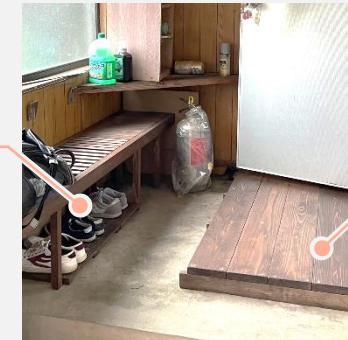


● 「足形プレート・すのこ」

- サロンげんじの出入り口に置く足形のプレートとすのこを制作。
- 2021年度制作物のベンチで靴を脱ぎ、その下にある足形の上に靴を置き、すのこを渡って室内に入る、という流れを作った。



レーザー加工機を使い、足形を掘ったプレート



サロンげんじの出入口周辺

すのこ

2022年度 代表幹事の感想

2022年度は、コロナや活動人数の少なさなどの様々な問題がある中で、前を向いて進められた年だったと振り返ります。OB・OGの方々にコロナ前のことを教えてもらいつつも、木匠塾で初のレーザー加工機の使用など、新しいことにも挑戦して取り組むことができました。途中、制作案を考え直したときや、制作期間が短くなったときには、不安もありましたが、たくさんの方にお力添えいただき、最終的には地域の方々に気に入ってもらえる物を完成できて良かったです。

代表幹事を後輩に引き継いだ後も、何度か大野に伺う中で、大野の方々が「イコイス」を使っているところを見ると嬉しく思います。これからも地域にイコイをもたらす一助になれば幸いです。

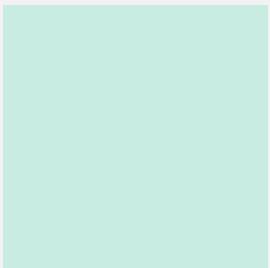
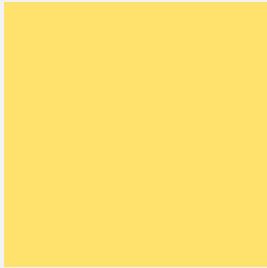
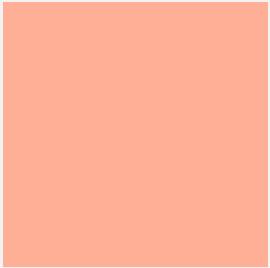
最後に、活動にご協力いただきました大野の皆様、制作に加わっていただいた皆様、ご指導いただいた先生方、そして共に活動した部員やOB・OGの皆様に心より感謝申し上げます。



京都府立大学 生命環境学部 環境デザイン学科 中村静香

2023年度 活動報告書

2023.5-2024.3



美山木匠塾 2022年度

目次

年間スケジュールと詳細	• • • • P.31
2023年度 制作の流れ	• • • • P.37
2023年度 制作物	• • • • P.43
代表幹事の感想	• • • • P.46

- 4 ほたるサロン・第1回現地プレゼン
- 5 サロンげんじに集まって、蛍を見に行く、「ほたるサロン」に参加しました。また、開始前にお時間をおいただき、集まった方々にプレゼンも行いました。
- 6 ほたるサロン 第1回 現地プレゼン
- 7 夏の合宿
- 8 1日目は、地域の盆踊りに参加し、プレゼンを行ったり、見よう見まねで盆踊りを体験しました。そして2日目は、1日目のプレゼンを踏まえた話し合いや、現地調査を行いました。
- 9 第3回現地プレゼン
- 10 地域の方にお集まりいただき、プレゼンを行いました。プレゼンでは、具体的な制作物のデザインや、設置場所などを提案し、合意をいただきました。



設計・制作

活動の振り返り・その他の活動

- 10 制作・設置
- 11 大学での制作は、様々な人に助っ人に来てもらいました。現地での組み立てや設置は、自然の中での作業となり、工夫も必要でしたが、楽しい経験となりました。
- 12 制作設置
- 1 エッシャー展見学会
- 2 だまし絵で知られるエッシャー、その佐川美術館で行われた展示会に行きました。その他、近くのラコリーナ近江八幡などにも訪れ、建築に繋がる知見を得ました。
- 3 第4回 美山×研究つながる集会
- 4 美山在住の方と、美山で活動する研究者が集う会に参加し、地元の方の過疎化などに対する危機意識を肌で感じるとともに、私たちの活動がどのように貢献できるのか考える機会となりました。



(場所) 美山町大野
(美山木匠塾の参加者) 京都府立大学3年: 中村、2年: 平田・
土井、1年: 一色



サロンげんじに集まって、螢を見に行く、「ほたるサロン」に参加しました。螢を見るのは初めてのメンバーもあり、楽しい経験となりました。

また、開始前にお時間をいただき、集まった方々にプレゼントも行いました。



2022年度制作の「イコイス」が看板として活躍！



コロナ禍の規制が緩和され、
イベントでのプレゼンが可能に！
昨年度以上にたくさんの方々から広くご意見をいた
だきました。



最後はみんなで集合写真！
地域の方がカメラで撮影してくださいました。

(場所) 美山町大野

(美山木匠塾の参加者) 羽原塾長/松原特別顧問/京都府立大学3年
:中村、2年:平田、1年:一色

合宿1日目

3年ぶりとなる合宿を行いました！合宿1日目は、4年ぶりの開催となった大野の盆踊りに参加させていただき、盆踊りを体験したり、プレゼンを行ったりしました。



準備のお手伝いとして、美山木匠塾の過去作品を利用した会場設営を行いました。

受付前でジュースを配るお手伝いをしました。



盆踊り開始前にお時間をいただき、プレゼンを行いました。



かき氷や焼き鳥、ジュースを地域の方のご厚意でサービスしていただき、盆踊りを目一杯楽しみました！



合宿2日目

2日目は、合宿1日目のプレゼンを受けてのミーティングや、現地調査を行いました。



改めて大野という地域と向き合い、課題や魅力を見つけることができた合宿でした。



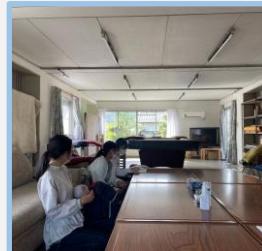
街中で動物の足跡を発見！

ヒアリング・現地調査・企画

5月4日 ヒアリング・現地調査

ヒアリング：

サロンげんじ以外でも、様々な場所で使えるものを作ってほしい
制作物の置き場所がなくなっている



現地調査：おおのさんぽの散策ルートをまわる



2017年度 制作物
「おおのさんぽ」



ひびの入った
「おおのさんぽ」の看板



→ひびの入った既存の看板や、
ルートがわかりにくい場所を発見

具体的な目標・制作案の検討

課題：

- ・様々な場所で使える必要がある
- ・制作物の置き場がなくなってきた
- 日常的に使えるものが必要
- ・破損している看板があった
- ・「おおのさんぽ」のルートがわかりにくい場所があった
- 看板の修繕・新たな看板の制作が必要

6月10日 第1回現地プレゼン

制作物の方針

- 屋外で使用するもの
→地域貢献・魅力発信につながるもの
屋内で使用するもの
→いすれの施設でも利用できるもの
地域の方の交流につながるもの



- 提案した制作物
- ・看板
 - ・カウンターテーブル
 - ・スリッパ入れ
 - ・ポスト

看板を中心に提案を行い、
それにご意見をいた
だきました。

制作案の厳選・ブラッシュアップ

8月13日 第2回現地プレゼン



提案した制作物

- ・スリッパ入れ
- ・ポスト
- ・看板

どれを制作してほしいかや、改善点について、ご意見をいただきました。

この中で、看板を希望する声を多くいただきました！

具体的な制作物の計画

制作物を看板に仮決定し、さらなる検討を行います



現地調査を行い、現在の課題を書き出し、新たに必要な看板を地図に書き込んでいきます。

制作したい看板

- ・「だいしそんのみち」の現在地がわかる看板
- ・集落の中で道の分岐や現在地がわかる看板
- ・飛び出し注意の看板

→数年間にわたって制作していく計画に

9月12日 第3回現地プレゼン

提案内容

- ・今後数年間にわたる看板制作計画
- ・2023年度制作の看板の具体的な形状と機能
- ・2023年度制作の看板の設置場所

住民の方と相談しながら検討し、最終的な制作物についての合意をいただきました！



設計

12月1日 地権者訪問・設置場所の確認



看板設置場所を確認し、360° カメラで周辺を撮影しました。

地主の方にご挨拶し、設置の許可をいただきました。地主の方のお家でホームステイを経験したOBが参加してくださったため、とても喜んでいただけました！

制作・引き渡し

長岡造形大学での制作

12月12日 材料の買い出し・材料の切り出し・レーザーによる焼付加工

12月13日 レーザーによる焼付加工

12月14日 レーザーによる焼付加工

12月22日 レーザーによる焼付加工

長岡造形大学の木匠塾メンバーが看板の一面のデザインと加工を担当しました。いつもの美山木匠塾作品とは異なるデザインに注目です！



京都府立大学での制作

12月24日 木材の切り出し・やすりがけ・塗装

12月25日 塗装・ベンチの組み立て

12月26日 ベンチの組み立て・看板の組み立て

12月27日 ベンチの組み立て・制作物の現地搬入



けがき

切り出し



塗装



組み立て

木匠塾メンバーの友人や森林科学科の学生、OBの方が助っ人として参加してくれました！

12月28日 現地での組み立てと設置



看板は車に積み込めないため、大学ではパーツごとに分けて制作し、現地で組み立てを行いました。



土台は周りにこけを移植してカモフラージュ



完成！！



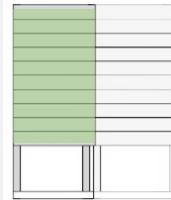
制作の目的

この看板は、2017年度制作のリーフレット「おおのさんぽ」に示されたルートの1つである、「だいしぜんのみち」をより安心して散策できるよう、制作しました。

看板には現在地を示した「おおのさんぽ」のマップを掲示しています。そのため、長い「だいしぜんのみち」の中でもルートを確認でき、安心して散策を楽しむことができるようになると考えました。

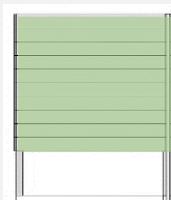
また、ベンチを設置することで、長くても休憩場所がない「だいしぜんのみち」の憩いの場となることを期待しています。

3つの看板の役割



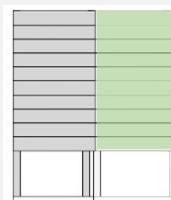
1. 写真映えする看板

散策していると真っ先に見えてくる看板のため、目を引くデザインとなっている。
ベンチに座ると、ちょうどいい高さで撮影が可能



2. 地図を載せる看板

「おおのさんぽ」全体の地図を掲示し、看板がある場所の現在地を示す。
→長く目印の少ない「だいしぜんのみち」の中で、現在地を確認して安心して散策できる



3. 情報を載せる看板（次年度制作予定）

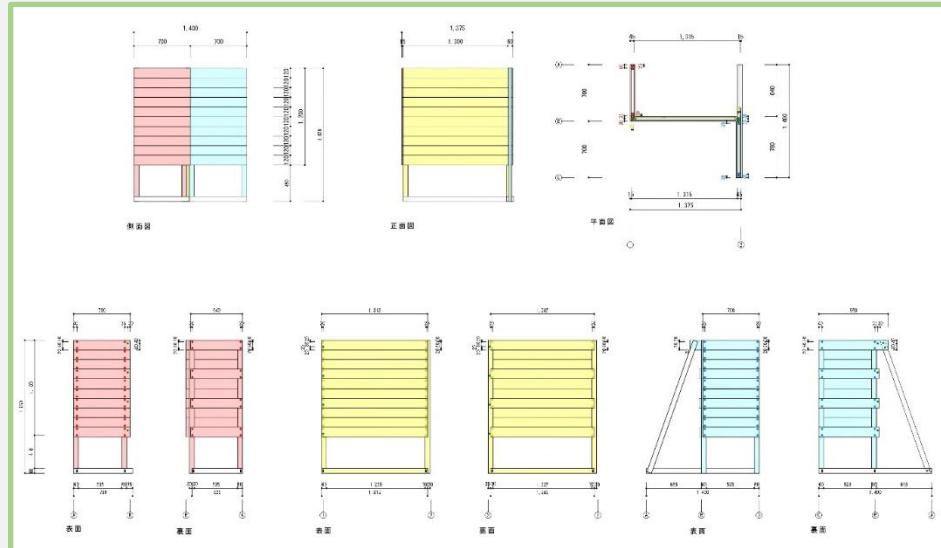
木匠塾メンバーが「だいしぜんのみち」を歩いて感じた魅力を掲載
→この先の道が楽しみになる

ベンチの役割

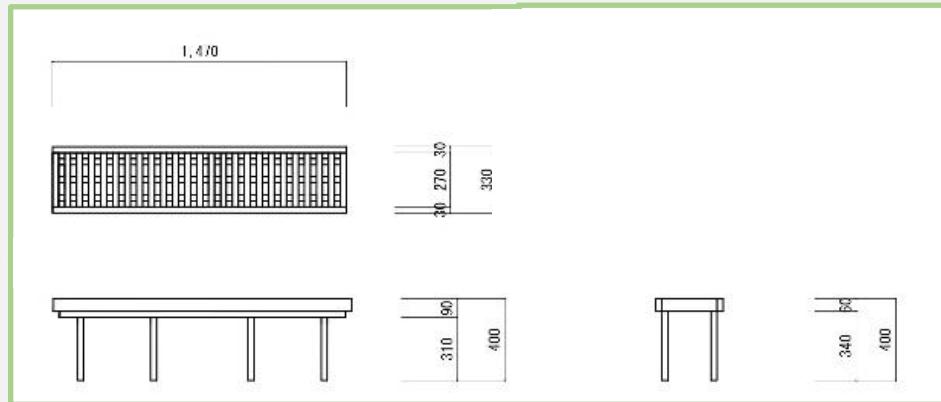


休憩場所のない「だいしぜんのみち」の中に座って休める場所をつくる。
→憩いの場になる

制作図

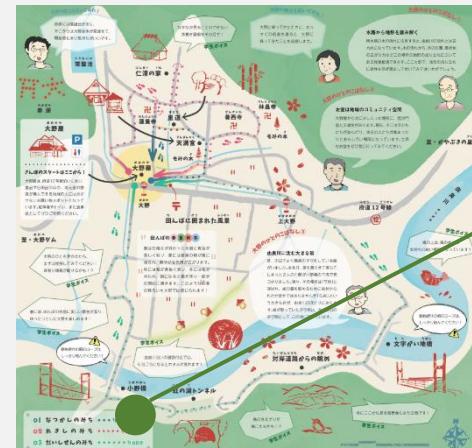


看板制作図



ベンチ制作図

設置場所



設置場所付近の様子

近くには眺望のよい
場所やトンネルも



代表幹事の感想



2023年度は、コロナ禍における規制が徐々に緩和されたため、現地で地域の皆さんへプレゼンを行うことができたり、様々なイベントに参加することができたりと、充実した一年でした。コロナ禍を経てメンバーが減り、大変なことも多かったですが、様々な方のご協力のおかげで、2023年度の制作を無事終えることができました。

京都府立大学 生命環境学部環境デザイン学科 平田鈴



2023年度 美山木匠塾

感想文

—3年間を振り返って—

学生の 感想文

※2024年3月時点の所属

中村静香 2022年度代表幹事

京都府立大学
環境デザイン学科 3年生

私は2021年度に入部してから、2022年度は代表幹事、2023年度は支える先輩として、3年間、活動に携わりました。自分の立場やコロナの状態の変化などに伴い、毎年違う問題に直面する中で、私自身、成長できたように感じます。また、私は合計11回大野に伺い、その度に応援してくださる地域の方々にお会いすると嬉しく思いました。今後も大野の方々との関係を築きつつ、美山木匠塾の活動が発展することを楽しみにしています。

岸田陽香 2021年度代表幹事

京都府立大学
環境デザイン学科 4年生

木匠塾の活動や代表幹事という役割を通して我ながら成長できたと感じています。一方で、歴代の代表幹事に比べるとかなり頼りなく申し訳なさもあります。一緒に活動し、サポートをしてくださった先輩・後輩の皆さん、初対面ながらも様々な場面で助けてくださった長岡造形大学の皆さんには本当に感謝しています！今後も上手く役割分担しながら楽しく活動していってほしいなと思っています！

平田鈴 2023年度代表幹事

京都府立大学
環境デザイン学科 2年生

美山木匠塾での活動は、どれをとっても貴重な体験だったと感じています。地域の方と関わることから、制作物について考えること、日々のミーティングに至るまで、初めて経験することばかりでしたが、木匠塾に参加し、自信のないことにも一歩踏み出したからこそ、自身の成長を感じることができました。この活動をこの先も繋いでいけるよう、努力したいです。

土井柚希

京都府立大学
環境デザイン学科 2年生

美山木匠塾は、幅広い分野での力が身につくサークルだと感じています。木工作品を「設計」「作成」する力はもちろんのこと、美山方々との交流を通して、「聞き出す」「伝える」力も伸ばすことが出来ます。また、実際に地域の方とのやり取りや資料作成までの多くを学生が行うため、社会人としての基礎的な能力も身につけることが出来ます。多角的な視点を身につけたい人に、オススメのサークルです。

佐藤天衣

長岡造形大学
建築・環境デザイン学科
2023年度4年生

初めての共同制作で戸惑うことも多々ありましたが、それぞれの意見を持ち寄って制作することができました。制作後も合同でコンペにも挑戦することができ、とても良い経験になりました。ありがとうございました。

中村彩乃

長岡造形大学
建築・環境デザイン学科
2023年度4年生

春のベンチ制作で特にお世話になりました。学部時代あまり木工室でガツガツ作業をやってこなかったので、府大のメンバーが工具を器用に使いこなし、作業を進めている姿にとても刺激を受けたのを覚えています。この1年は手を動かして作業をした日が多く、美山木匠塾での活動が自分の制作活動にも良い影響を与えているなと感じました。

堀栄美菜

長岡造形大学
建築・環境デザイン学科
2023年度4年生

木匠塾の活動ではベンチの試作やコンペティション資料の作成等のお手伝いをさせてもらいました。特にベンチの試作では他大学の学生と交流しながら制作することが新鮮で学びが多くかったです。活動を通して木材ができることの幅広さを知ることができ、自分の作品づくりにも役立ちました。

OB・OGの 感想文

手島悠登

京都府立大学
環境デザイン学科 OB

みなさん、こんにちは。OBの手島です。
2021～2023年の間で何度かお手伝いをさせていただきました。
ゲストとして関わることで、木匠塾の面白さ・楽しさをより感じることができました。
「大野の方の要望や願いを聞いて、それを形にしていく。」
忙しさの中で視野が狭くなり、忘れてしまいがちですが、とても素敵な活動です。
少数精銳で大変なことも多いと思いますが、今後も美山木匠塾が続くことを願っています。

大久保朋花

京都府立大学
環境デザイン学科 OG

2021年度以降、私の参加は代替わりで少なくなっていましたが、大野の皆さんと共につくる制作物で「サロンげんじ」をより豊かな場にしていく過程に少しでも関わることができ、嬉しく思っています。いつも活動にご協力いただいている皆さんには大変感謝しています。ありがとうございます。現在私は社会人になりましたが、今後も美山木匠塾が大野地域にとっても木匠塾員とっても良い、温かいサークルであることを願っています。

井上あい

京都府立大学
環境デザイン学科 OG

木匠塾OBの井上です。現在は建築設計の仕事をしています。
塾長の羽原さんにお声掛けいただき、昨年2023年12月、約4年ぶりに大野を訪れることができました。
ホームステイでお世話になった小寺さんに会いに行くとあいちゃんが帰ってきたと温かく迎えてくださり、帰省したような気持ちでとても嬉しくなりました。
また、大野の方々や先生方とともに、活動を頑張っている現役生の様子を知ることができて良かったです。応援しています。

先生方の 感想文

羽原康成 塾長

長岡造形大学 准教授

2020年以降のコロナ禍は、美山木匠塾にも大きな影響を与えました。活動地に行くことができない状況での地域活動とは何か、という間に直面しました。その状況においても、参加学生の努力と、地域住民の協力によって、オンラインでの意見交換や「木匠塾だより」の配布といった動きが生まれ、住民とのつながりと、美山木匠塾としての活動を保つことができました。これが何よりもすばらしい成果だと思います。こうした経験を糧とした活動を、今後も期待したいと思います。

松原斎樹 特別顧問

京都府立大学 特任教授

森田一弥 顧問

京都府立大学 准教授

ここ数年いろいろと活動の難しい状況が続きましたが、そのなかでも粘り強く活動を続けられましたことに、敬意を評したいと思います。私も静原という小さな集落に住んでいますが、大野のような山間集落に行くことでしか得られない、貴重な経験がありました。それが、今後の皆さんのが将来にどんな影響を与えるのか、楽しみにしています。

この3年間は、美山木匠塾史上初のパンデミック下での活動期間が長かったのですが、その中でも、オンラインミーティングを継続しつつ、現地に頻繁に「便り」を配布するなど、活動の水準を維持できたことは高く評価できます。また、羽原塾長が2022年度から長岡造形大学に赴任され、京都府立大学との交流という活動の拡がりにつながりました。この活動を通じた成長が、卒業後の社会での活躍につながると信じています。



体制

塾長：長岡造形大学 准教授 羽原康成
 顧問：京都府立大学 准教授 森田一弥
 特別顧問：京都府立大学 特任教授 松原斎樹
 ものつくり大学 教授 戸田都生男
 参加者：京都府立大学大学院 2年生 植地俊輔
 京都府立大学 4年生 岸田陽香（2021年度代表幹事）
 3年生 中村静香（2022年度代表幹事）
 2年生 平田鈴（2023年度代表幹事）
 土井柚希
 1年生 一色真綾
 OB・OG 大久保朋花・井上あい・手島悠登
 長岡造形大学 2年生 永井心美
 1年生 井上紗彩・上村もか・大崎花音
 OG 佐藤天衣・中村彩乃・堀栄美菜
 （合計16名・2024年3月時点の所属）

協賛：南丹市美山支所
 南丹市美山町大野区評議委員会
 発行日：2024年5月
 発行元：美山木匠塾